

第3章 文法の概略

この章では、スンバワ語の文法の概略を述べる。構成は以下のとおりである。個々の項目については第5章（文の構造）でさらに詳しく述べる。

1 文の成分と構成要素

1.1 述部

1.2 述部以外の成分

1.3 文の構成要素の分布

2 文の構成要素（名詞句、副詞句、前置詞句）

2.1 名詞句の構造

2.2 副詞句

2.3 前置詞句

3 文のタイプ

3.1 動詞句以外（名詞句、前置詞句、副詞句）が述部の主要部である文

3.2 動詞が述部の主要部である文

1 文の成分と構成要素

文の成分は述部とそれ以外の成分に分けることができる。それぞれについて以下の部分で順に述べる。

1.1 述部

文に必須の成分は、その発話が表示状況の中核を表示部分一つだけである。これを文の述部と呼ぶ。述部の主要部には、名詞を主要部とする句（名詞句）、副詞を主要部とする句（副詞句）、前置詞句、動詞¹を主要部とする句（動詞句）が現れうる²。それぞれの例を(1)-(4)に挙げる。ここでは補語（名詞句、前置詞句）が述部と共に起している例を挙げるが、いずれの場合も述部だけで文は成立する。

- (1) *tau=Empang* *dèan*
 person=Empang that 「彼は Empang の人だ。」

1 第2章の註15で述べたように、この言語には、動的な状況を表示用言と静的な状況を表示用言を区別する明確な統語的基準がない。よって、本記述では形容詞という範疇をたてない。動詞の中には動的な状況を表示するものだけでなく、静的な状況を表示するものも含まれることになる。

2 名詞句、副詞句、動詞句はそれぞれ単独の名詞、副詞、動詞からなる場合もあるが、文の構成要素としていうときは、そのような場合も、名詞句、副詞句、動詞句と呼ぶ。

3.1 文の成分と構成要素

- (2) *mèsa-mèsa'* *nya*
 alone 3 「彼はひとりぼっちだ。」
- (3) *pang'* *balé* *aku*
 at house 1SG.LOW 「私は家にいる。」
- (4) *mólé'* *nya.*
 go.home 3 「彼は帰る。」

述部の文中での位置に特に制約はない。(1)-(4)に対して、(1)'-(4)'のような語順も容認される。

- (1)' *dèan* *tau=Empang*
 that person=Empang 「彼は Empang の人だ。」
- (2)' *nya* *mèsa-mèsa'*
 3 alone 「彼はひとりぼっちだ。」
- (3)' *aku* *pang'* *balé*
 1SG.LOW at house 「私は家にいる。」
- (4)' *nya* *mólé'*
 3 go.home 「彼は帰る。」

1.2 述部以外の成分

本記述では、述部以外の文の成分を副詞成分と補語の二つに分ける。

- ・副詞成分：副詞句と場所を表す前置詞句（鼻音前置詞 *N* 「～で」または前置詞 *pang'* 「～で」から成る句）
- ・補語：名詞句および場所を表す前置詞句以外の前置詞句

補語と副詞成分は他の成分との共起などの点で異なるふるまいをする。補語は動詞を主要部とする述部とのみ共起するが、副詞成分は多くの場合、その主要部の語類を問わずすべての述部と共起する。意味的には、補語は述部の表す内容と密接な関係を持つ事物を指し、副詞成分は名詞句と述部の表す状況の背景を示す。

補語のうち名詞句の形で現れるものを名詞句補語、前置詞句の形で現れるものを前置詞句補語と呼ぶ。(5)では副詞句 *mèsa-mèsa'* が副詞成分、前置詞句 *kó' Lapé* が前置詞句補語、名詞句 *nya* が名詞句補語である。

3.1 文の成分と構成要素

- (5) *mèsa-mèsa'* *laló* *kó' Lapé* *nya.*
 alone go to Lape 3
 副詞成分 述部 前置詞句補語 名詞句補語
- 「彼は一人でラペに行った。」

1.3 文の構成要素の分布

以上述べたことを整理すると以下ようになる。文は述部、補語、副詞成分の三つの成分から成り、それぞれを構成する要素には名詞句、前置詞句、副詞句、動詞句の四つがある。これらの構成要素のうち、動詞句は述部にのみ現れるが、他のものは文中で複数の位置に現れうる。たとえば名詞句は単独で述部としても現れるし、補語としても現れる。

構成要素の分布は以下ようになる。左に文の材料としての構成要素を、右にそれぞれが単独で構成しうる文の成分（単独で文中において担いうる機能）を記した。

構成要素	左の構成要素が単独で構成しうる文の成分
動詞句	述部
名詞句	述部、補語
場所を表す前置詞句	述部、副詞成分
場所以外を表す前置詞句 ³	述部、補語
副詞句	述部、副詞成分

以下の部分では、まず、2で構成要素のうち名詞句、前置詞句、副詞句の構造について述べ、次に3で文の構造について述部のタイプごとに述べる。ただし、述部のみに現れる動詞句については、動詞を述部とする文の項3.2で述べる。

2 文の構成要素（名詞句、副詞句、前置詞句）

2.1 名詞句の構造

名詞句は、次のような構造を持つ。必須の要素は主要部のみである。

[主要部]（修飾成分）

3 この言語には11個の前置詞句があるが、述部を構成するのは場所を表す鼻音前置詞*N*、前置詞*pang'*、起点を表す*kaléng/ kalés*などいくつかに限られる。この点については第5章の5.3で述べる。

名詞句の主要部

主要部に現れうる要素には、名詞、人称詞、指示詞、数量詞、名詞節形成詞がある。

(個々の要素の主要部としての現れ方については第5章の2.1で詳しく述べる。また、人称詞の形態論については第5章の2.1.1.2で、指示詞の形態については第4章の2.5.2で、名詞節形成詞は第5章の8で扱う。)

それぞれの場合について以下に例を示す。名詞句を[]内に入れて示した。

- (6) *datang mo [tau=nan]*
 come MM person=that 「その人が来た。」(名詞句が主要部)
- (7) *datang mo [nya].*
 come MM 3 「彼が来た。」(人称詞が主要部)
- (8) *datang mo [dèta].*
 come MM this 「これ(この人)が来た。」(指示詞が主要部)
- (9) *datang mo [pitu'].*
 come MM seven 「七(人)来た。」(数量詞が主要部)
- (10) *datang mo [adè balong].*
 come MM NOM good
 「よい(人)が来た。」(名詞節形成詞が主要部)

名詞句内の修飾成分

名詞句内で修飾成分として現れるのは名詞句、副詞句、人称を表す要素、動詞、数量詞、指示詞、前置詞句、および、名詞節である。それぞれについて例を示す。(個々の要素の現れ方については第5章の2.3で詳しく述べる。)

- (11) *empa' ayam.*
 meat chicken 「鶏の肉」(名詞句が修飾成分)
- (12) *pipés=sapèrap.*
 money=yesterday 「昨日のお金」(副詞句が修飾成分)
- (13) *nè sia.*
 foot 2SG.HIGH 「あなたの足」(人称詞が修飾成分)
- (14) *tau=balong*
 person=good 「よい人」(動詞が修飾成分)

3.2 文の構成要素

- (15) *tau=pitu'*
person=seven 「七人の人」(数量詞が修飾成分)
- (16) *tau=ta*
person=this 「この人」(指示詞が修飾成分)
- (17) *tau pang' balé.*
person at house 「(通常は配偶者を指して)家にいる人」
(前置詞句が修飾成分)
- (18) *tau adè mólé .*
person NOM go.home 「帰る人」(名詞節が修飾成分)

2.2 副詞句

副詞句の主要部に現れる要素は、副詞、数量詞、指示詞である。このうち、様態を表す副詞、および数量詞、指示詞は常に単独で副詞句を構成する。

- (19) *mbang-mbang nya datang kóta*
suddenly 3 come to.here
「突然彼はここに来た。」
- (20) *telu nya kakan tepóng.*
three 3 eat cake
「彼は三つお菓子を食べた。」
- (21) *ta ya=ku=mólé kó' dèsa.*
this CONS=1SG.LOW=go.home to village
「このように(今)、私は故郷に帰るつもりです。」

主要部が「とき」を表す副詞である場合は、主要部の後に指示詞、動詞、または、名詞節が修飾成分として現れる場合がある。

- (22) *bulan=nan*
month=that 「その月」
- (23) *anó=panas*
day=hot 「暑い日」

3.3 文のタイプ

- (24) *tén* *adè* *ka=laló*
year NOM PERF=go 「過ぎ去った年」

2.3 前置詞句

前置詞句は前置詞 + 名詞句という形を持つ。前置詞には以下のものがある⁴。

- *pang'* / 鼻音前置詞 *N* 場所「～で、～に」
- *lakó'* / *kó'* 方向「～へ、～に」
- *kalés* / *kaléng* 起点「～から」
- *ké'* 随伴者「～と」、道具「～で」
- *umén* 受・授益「～のために」
- *antara* 範囲「～から～まで」、「～の間で、～の間に」
- *sampai* 限度「～まで」
- *léng* 他動詞文の動作主「～によって、～が」

前置詞句の機能については第5章の4で述べる。

3 文のタイプ

3.1 動詞以外(名詞句、前置詞句、副詞句)が述部の主要部である文

この場合、述部の構造は以下ようになる。

(否定詞) 主要部[名詞句、副詞句、前置詞句] (限定詞) (叙法辞)

述部に必須の要素は主要部だけで、その他の要素は随意的に現れる。(ここでは述部が主要部のみからなる例を挙げる。否定詞については第5章の10.1および第6章の2で、叙法辞については第5章の10.3および第7章で、限定詞については第5章の10.2で詳しく述べる。)

動詞以外が主要部である述部は一つの名詞句補語および副詞成分と共起しうる。ここでは述部が名詞句補語とのみ共起している例を挙げる。この言語にはいわゆるコピュラは存在せず、述部と名詞句補語を並置することによっていわゆる「同定」が示される。

既に1.1で述べたように、いずれの場合も述部と名詞句補語の相対的語順は自由である。

- (25) *tau=Empang* *dèan*
person=Empang that 「彼は Empang の人だ。」

- (26) *dèan* *tau=Empang*

4 場所を現す前置詞には *pang'* と鼻音前置詞 *N* の二種類が、方向を示す前置詞には *lakó'* と *kó'* の二種類が、起点を示す前置詞には、*kalés* と *kaléng* の二種類があるが、それぞれの間には顕著な意味の違いは確認されていない。

3.3 文のタイプ

that person=Empang 「彼は Empang の人だ。」

(27) *anó=Senén* *pèsta=nan.*
Monday festival=that 「お祭りは月曜日だ。」

(28) *pèsta=nan* *anó-Senén.*
festival=that Monday 「お祭りは月曜日だ。」

(29) *pang' balé* *aku.*
at house 1SG.LOW 「私は家にいる。」

(30) *aku* *pang' balé*
1SG.LOW at house 「私は家にいる。」

この種の文については第5章の5で詳しく述べる。

3.2 動詞が述部の主要部である文

3.2.1 述部の構成要素

動詞以外に次の(i)-(vii)の要素が現れ、動詞句を形成する。

(i) 否定詞 *nó, siong'*

例: *nó datang*
NEG come 「来ない」

(ii) アスペクト辞 *ka* (完了)、モダル辞 *ya* (先行する状況との結びつき)、*ma* (願望)、*na* (ある状況が成立しないことへの願望)

例: *ka=datang*
PERF=come 「来た」

(iii) 動作主体の人称を表す要素

(動作主体が話し手または聞き手を含む場合に限りて現れる。)

例: *ku=datang*
1SG.LOW.AFFIX=come 「私は来る」

(iv) 連用詞 *laló'* 「とても」、*benar* 「ほんとうに」(程度の強さを示す。)

例: *balong=laló'* 「とてもよい」
good=very.much

(v) 限定詞 *baè* 「～だけ」

例: *mangan baè*
eat only 「食べるだけ」

(vi) 動作の対象、動作の受け手の人称を表す要素

3.3 文のタイプ

例： *sèpak ku*
 kick 1SG.LOW 「私をける」
bèang ku
 give 1SG.LOW 「私に与える」

(vii) 叙法辞 (*ké'* (不確定)、*mo* (起動、妥当)、*po* (必要な条件)、*si* (対比))

上記(i)-(vii)のうち、(i)-(iii)は常に動詞に先行し、(iv)-(vi)は常に動詞に後続する。(vii)は条件によって動詞に先行する場合と後続する場合がある。(述部内に否定詞またはアスペクト辞、モダル辞が現れる場合はその直後に、そうでない場合は述部の最後に現れる。)

3.2.2 述部と共起する要素

動詞句から成る述部は、名詞句補語、前置詞句補語、副詞成分と共起しうる。補語が名詞句補語として現れるか、前置詞句補語として現れるかは、主に(i) 動詞の種類、(ii) 指示物と述部の表す内容との意味的關係によって決まる。

以下に例文を挙げる。(31)は自動詞を主要部とする文である。ここでは動作主体を表す *nya* (三人称代名詞、動作主体) が名詞句補語で現れ、方向を表す *kó' Lapé* 「ラペへ」が前置詞句補語で現れている。(32)は他動詞を主要部とする文である。ここでは動作の対象をあらわす *nangka nan* 「そのジャックフルーツ」が名詞句補語で、動作主を表す *léng nya* (by 3) が前置詞句補語で現れている⁵。

(31) *laló [kó' Lapé] nya.*
 go to Lape 3
 述部 前置詞句補語 名詞句補語 「彼はラペに行く。」

(32) *ka=kakan [nangka=nan] [léng nya].*
 PERF=eat jackfruit=that by 3
 述部 名詞句補語 前置詞句補語 「彼はそのナンカの実を食べた。」

ただし、他動詞の表す動作の動作主を表す要素は語順などの条件によっては名詞句補語として現れる場合がある。この点については第5章の6.3で詳しく述べる。

述部内の人称辞と補語の相互照応 (主語と目的語)

述部内に現れる動作主を表す人稱辞は、補語と相互照応を示すことがある。一人称単数(33)、二人称単数(34)、一人称複数(35)、二人称複数(36)の例を以下に示す。(いずれの場合

5 本研究では、ここに示した動作主を表す補語の現れ方の違いを根拠に自動詞と他動詞を区別する。(前置詞 *léng* 'by' を含む前置詞句と共起しうる動詞を他動詞、それ以外の動詞を自動詞と呼ぶ。)

3.3 文のタイプ

も、補語として現れる独立代名詞が現れなくても文は成立する。)

- (33) *ku=lalo* *si* *aku*
 1SG.LOW.AFFIX=go MM 1SG.LOW 「私は行きます。」
- (34) *mu=lalo* *ké'* *kau*
 2SG.LOW.AFFIX=go INTERR 2SG.LOW 「あなたは行きますか。」
- (35) *ka=tu=kakan* *nangka=nan* *léng* *kami*
 PERF=1PL.AFFIX=eat jackfruits=that by 1PL.EXCL.
 「私たちはそのナンカの実を食べた。」
- (36) *ka=nènè=kakan* *nangka=nan* *léng* *nènè*
 PERF=2-3PL=eat jackfruits=that by 2-3PL
 「あなた方(またはその人たち)はそのナンカの実を食べた。」

本稿では述部内の人称辞と相互照応を示す補語を主語と呼ぶ。(33)では *aku* (1SG.LOW)が、(34)では *kau* (2SG.LOW)が、(35)では *léng kami* (by 1PL.EXCL)が、(36)では *léng nènè* (by 2-3PL)がそれぞれ主語である。既に述べたように、動作主を表す補語は自動詞が述部の主要部である場合は名詞句補語の形で、他動詞が述部の主要部である場合は前置詞句補語の形で現れる。そのため、主語は述部の主要部が自動詞か他動詞かによって形が異なる。

3.2.1 で示したように、述部内に人称代名詞が現れるのは、動作主体が話し手、または聞き手を含む場合のみである。それ以外の場合は、動作主体を表す語は、述部との相互照応を示さない。(37)(38)に動作主が三人称である例を示す。ここでは述部内に人称を表す要素は現れていない。

- (37) *laló* *mo* *nya*
 go MM 3 「彼は行きます。」
- (38) *ka=kakan* *nangka=nan* *léng* *nya*
 PERF=eat jackfruits=that by 3
 「彼はそのナンカの実を食べた。」

三人称の動作主体を表す語は、述部との相互照応を示さないことを除けば、一人称、二人称の動作主体を表す語と同様の機能を持つ。本稿では、この場合も動作主体を表す語を主語と呼ぶ。(37)では *nya* (3)が、(38)では *léng nya* (by 3)が主語である。

また、本稿では他動詞を述部とする文において常に名詞句補語で現れる補語(動作の対象を表す補語)を目的語と呼ぶ。(35)(36)(37)では *nangka=nan* (そのジャックフルーツ)が

3.3 文のタイプ

目的語である。

主語、目的語の形態についてまとめると以下のようになる。

	主語	目的語
自動詞構文での形	名詞句補語	×(現れない)
他動詞構文での形	前置詞句補語 (<i>léng</i> 前置詞句)	名詞句補語